

NIMSにおける人材戦略 ～ひとが採れないかもという恐怖との戦い



国立研究開発法人物質・材料研究機構 (NIMS)

理事長 宝野和博



1956

NIMS

2001

NIMS 25th + 特定 10th + 金材研 70th + 無機材研 60th

2026



科学技術庁金属材料技術研究所 (NRIM)

1966



科学技術庁無機材質研究所 (NIRIM)



国立研究開発法人
物質・材料研究機構 (NIMS)

2016

特定国立研究開発法人

Vision

材料で世界を変える！



千現地区



並木地区

常勤職員数
(2025.4.1)

1,032

非常勤職員数

565

研究職	370 (221)
技術職	97* (115)
事務職	155* (74)
計	622* (410)

(任期制)

*無期雇用職員含む

NIMSジュニア 129
招聘研究員、技術職、事務職等 436

総収入 (FY2024)

346

 億円

うち外部資金

160

 億円

論文 (2024)

1,355

材料科学分野
被引用件数日本#1

TOP10% Papers 23.1%

TOP1% Papers 4.4%

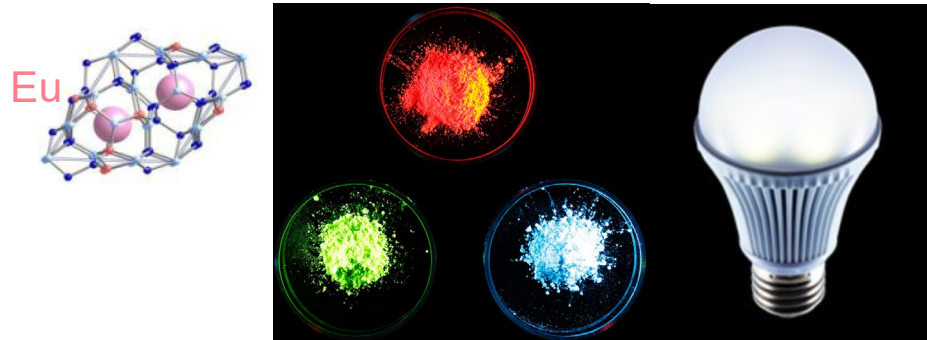
参考: MIT 5.8%、ハーバード大 4.2%

FWCI 1.45

NIMSの代表的な成果

SiAlON蛍光体

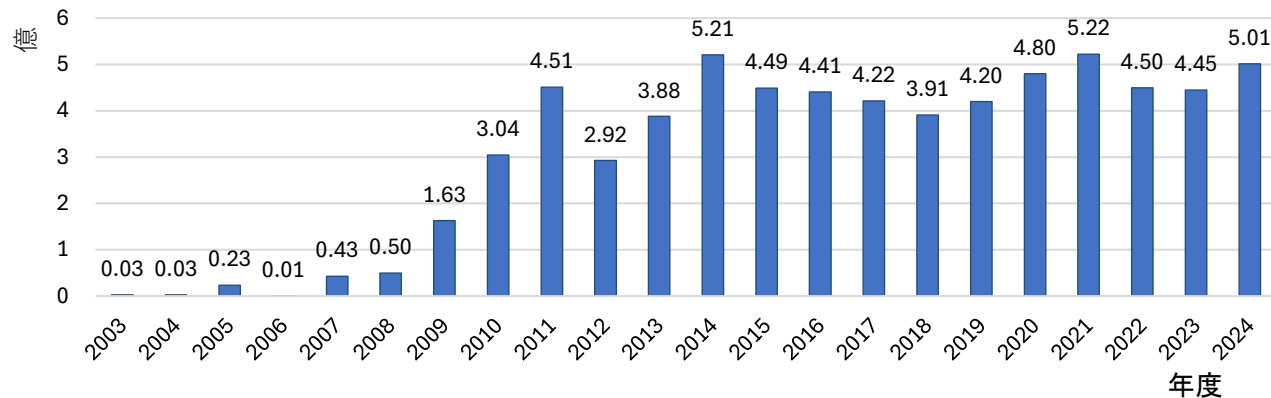
高効率蛍光体の開発により、LED照明の世界的な普及



青色LEDと組み合わせて白色光照明を実現

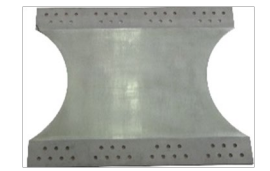


年度別ライセンス収入 2003～2024年度のライセンス料累積:68億円



耐震性ダンパー鋼

形状記憶合金の応用により、長周期地震動から高層建築物を守る交換不要のダンパーを開発



形状記憶合金

従来の
10倍以上の
疲労寿命

提供: 株式会社竹中工務店



(株)エスエス



Aichi Sky Expo

(株)エスエス

研究センターと重点領域

運営費交付金プロジェクト: 組織ごとに中長期計画に基づき計画的・継続的に実施

電子・光機能材料

エネルギー・環境材料

量子・半導体・ナノ材料

マテリアル基盤
先端解析とデータ駆動型研究

磁性・スピントロニクス材料

構造材料

高分子・バイオ材料

共用部門

- 材料データPF
- 材料創製・評価PF
- 蓄電池PF

組織横断型重点領域研究: 時の要請に機動的に応える組織横断型研究

2020

量子マテリアル

次世代半導体

2023

カーボンニュートラル(蓄電池、水素関連材料)

バイオマテリアル

2024

マテリアル循環

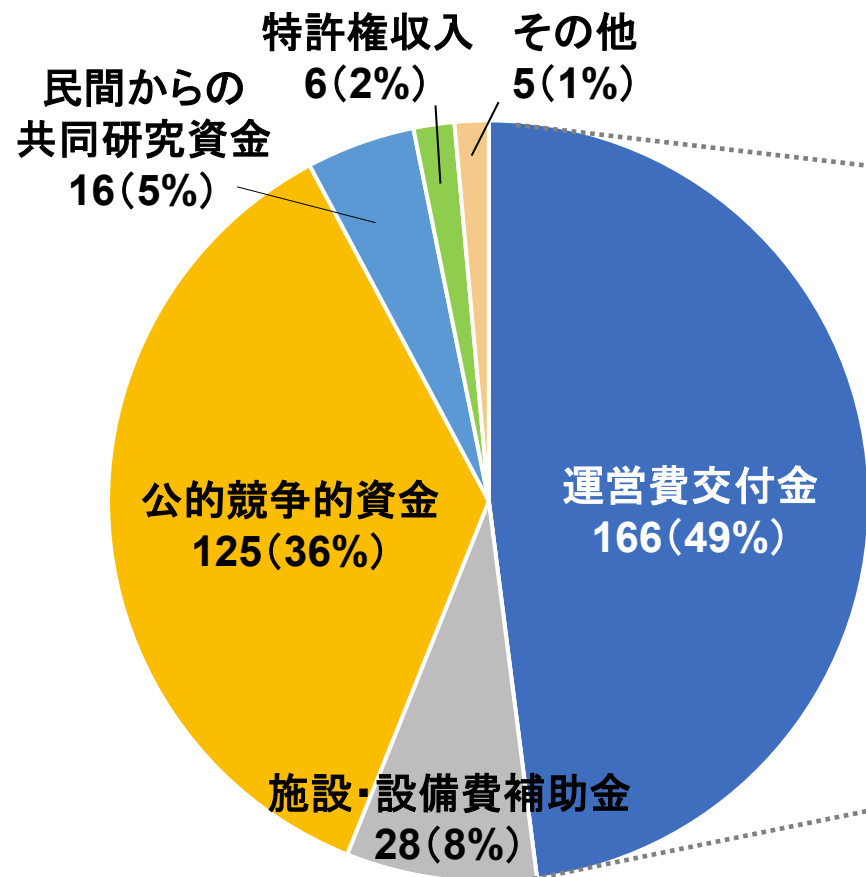
自由発想研究支援
(科研費とマッチング)
研究力を高めるための自己研鑽

収支

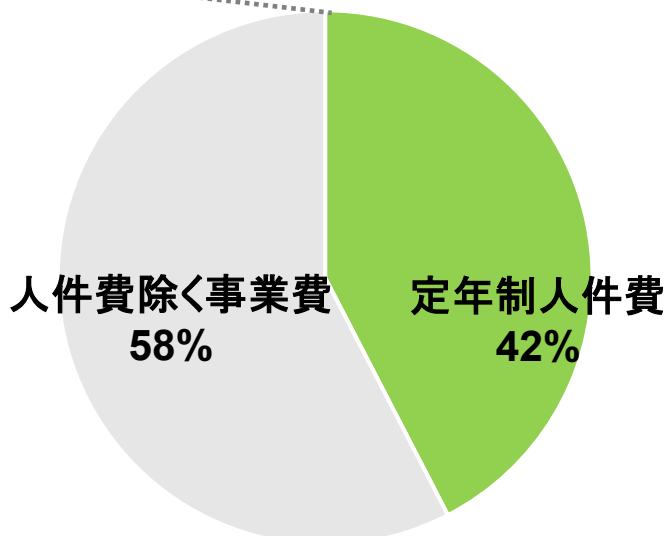
総収入: **346億円**

総支出: **346億円**

うち、研究費104億円(30%)

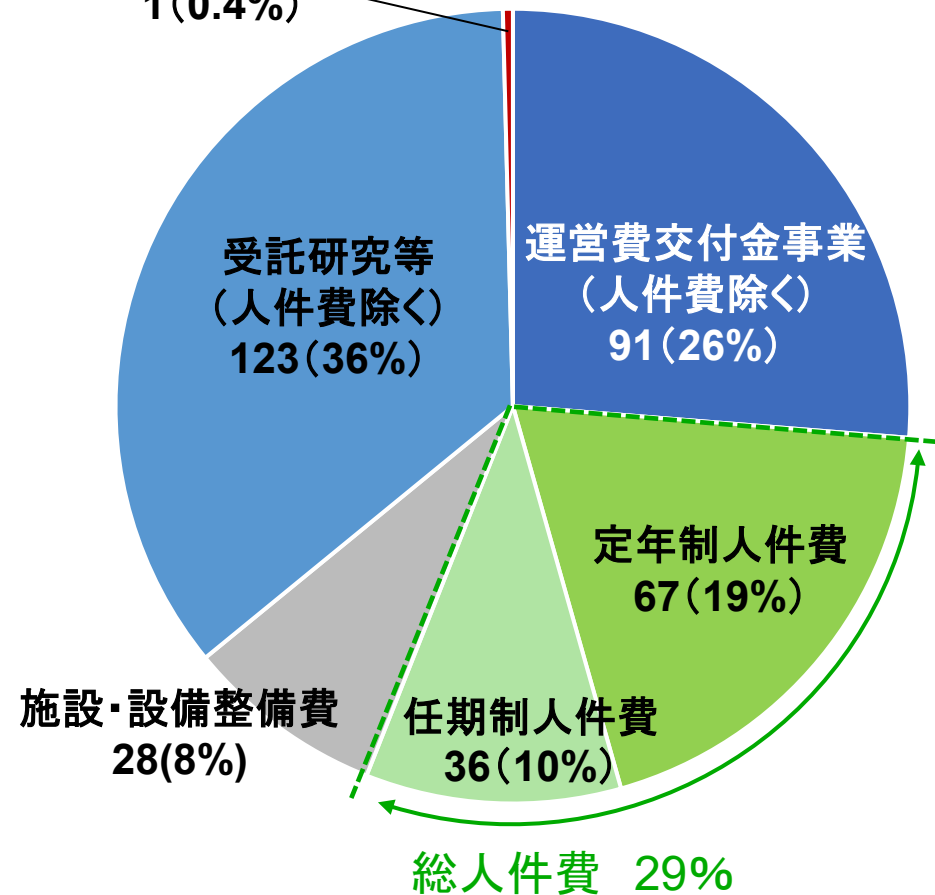


運営費交付金内訳



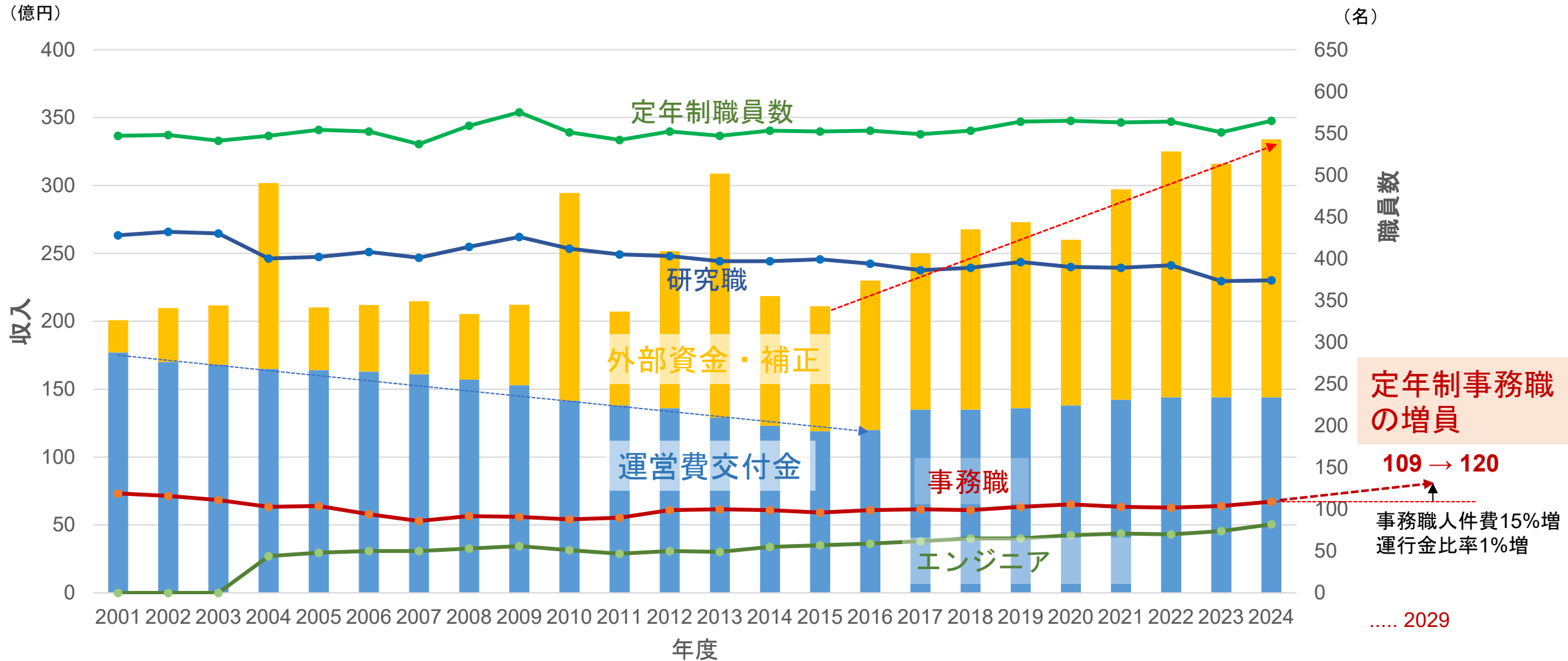
補助金事業費(人件費除く)

1(0.4%)



c.f. 国立大学法人平均: 人件費/運営費交付金 ~約1.5倍(≒150%) 人件費/総収入~ 0.4-0.5

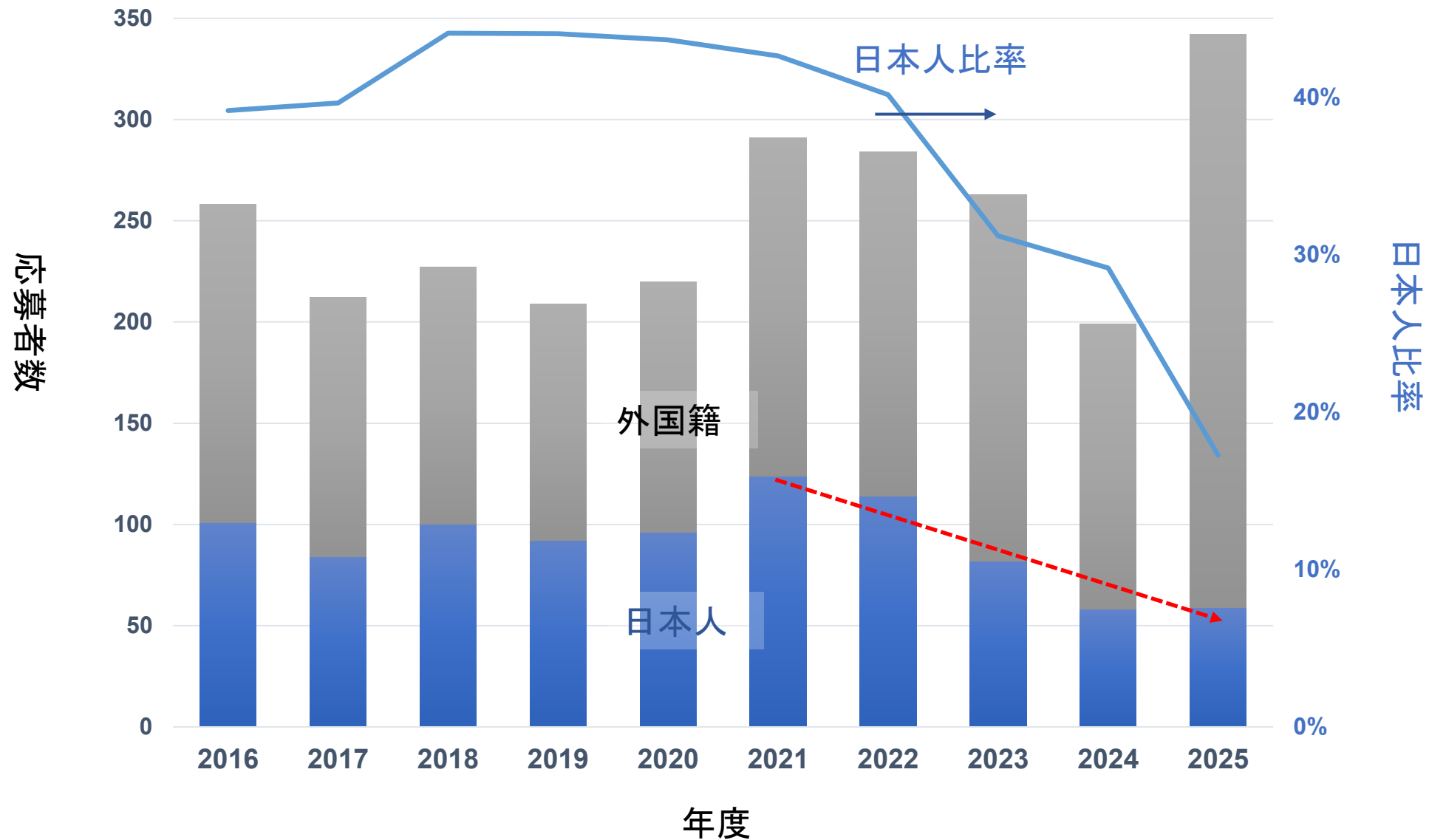
運営費交付金・総収入・定年制職員数の推移



NIMS創設時(2001年)の定年制職員数554名(研究職+エンジニア職450名+事務職104名)は不変

→総収入が50%増でも、事務職員数は2001年以来不変 →事務職を2029年までに11名増員

定年制研究職応募者数と日本人比率の推移



人材戦略

【最優先リスク】マテリアル分野での優秀人材確保

人口減、博士進学者減、AIやIT分野への人流、国際卓越研究大学の若手優秀人材の大学ポスト増を見込み「**優秀な研究人材が確保できなくなるかもしれないという恐怖感**」をもって機構として取り組む

人材採用強化:

研究職: 常時国際公募

事務職・エンジニア職: 人材紹介会社、リクルート動画作成、一般公開での応募者向け説明会

ブランディング: 選んでもらえるようNIMSの魅力度発信

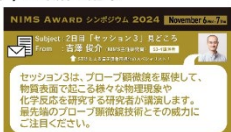
研究人材の“顔が見える”広報を推進



動画を通じた材料科学の魅力度発信



広報誌で若手研究者・エンジニアを積極紹介
→ 国内外 計68ヶ国、約4,000ヶ所へ配布

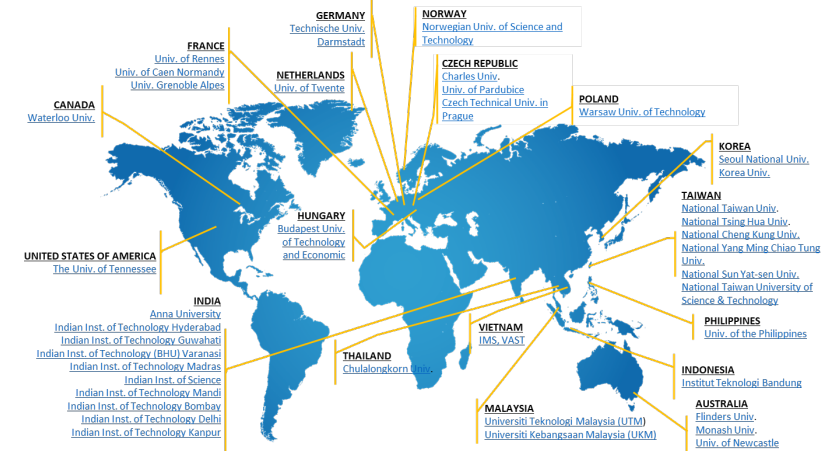


イベント連動SNS発信強化
→ 総閲覧数 約10万

人材エコシステム: 連携大学院ならびにクロスアポイントメント

	教員数	学生数
筑波大	36	102
北海道大	18	28
早稲田大	10	12
九州大	8	11
大阪大	2	4
横浜国立大	3	6
東京科学大	3	1
合計	80	164

グローバル人材: 世界から優秀な若手を発掘・リターンを期待(国際連携大学院)



IIT 10校を含む42大学と協定

- 大学院生を**NIMSジュニア研究員**として雇用し博士課程進学を後押し
- 2004年以来、31か国670名が学位取得

NIMSジュニア研究員の処遇:

20万円/月(博士後期)、16万円/月(博士前期)
+ 入学金相当分一時支給

- 博士課程学生を1年滞在させ学位取得を共同で指導
- 2002年以来、306名の博士課程学生

優秀研究者の採用

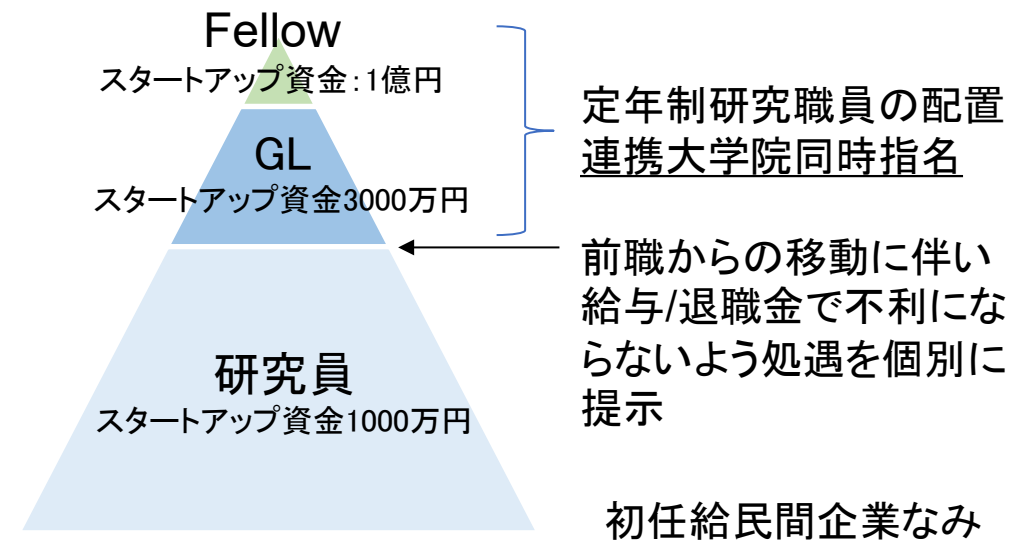
～みんながリクルーター

【主旨】

- さまざまな階層の研究者から優秀な人材を戦略的かつタイムリーに採用するために、全職種で定期公募以外での採用パスを加える
- 拠点長・GLが人材情報を収集し、権限を持ったリクルーターとして随時活動

【選考方法】

1. 拠点長・GL等が「優秀研究者リクルート事前申請」を提出
2. 役員等会議にて採用水準と判断するとセミナー開催
3. セミナーにて採用人事をすすめるかを判断
5. 応募書類提出
6. 採用を前提として理事長面接で条件等を折衝



2025年度新規採用研究職員に対して、
最高で1.4億円の研究環境整備費を提供

優秀人材確保：事務職

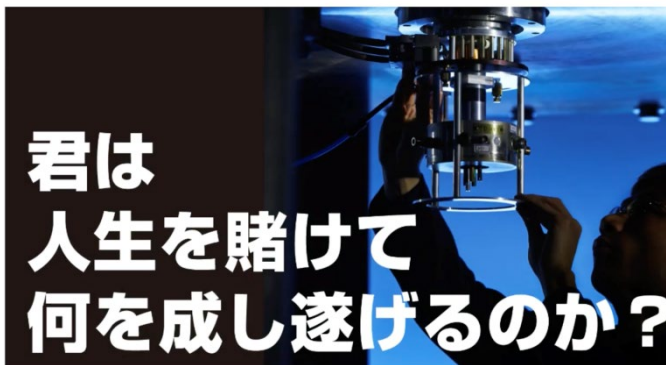
- 人材獲得競争力を高めるため、**事務職員の初任給アップ**
- 国研由来の**理工格差の是正**

職種	学位	初任給(月給)
エンジニア職	修士了	316,912円 (△30,436円)
事務総合職	修士了	316,912円 (+50,112円)
エンジニア職	学部卒	300,672円 (△30,136円)
事務総合職	学部卒	300,672円 (+45,472円)

参考：国内某素材メーカー
 修士了／290,000円
 学部卒／265,000円



2026年4月採用者より適用予定



動画によるNIMS事務職・エンジニアのしごとの紹介

一般公開時の職員採用説明会

任期制事務職の給与改定

任期制事務職の給与をつくば市内他研究機関等の給与と競争力を持たせ人材確保を行うために改定（15年ぶり）

つくば市内国研等・民間企業との比較

2025.12時点

研究機関等	時給(円)	民間企業	時給(円)
JAXA 事務支援	1,317-1,962		
		大手製薬会社 総務事務	1,700
産総研 一般事務	1,100-1,400		
NIMS事務部門 事務業務員	1,380		
		フードスクエアカスミ レジ	1,200
環境研 事務	1,140-1,360	イオンモール スタッフ	1,100-1,400
筑波大 事務	1,060-1,280	ロピア スタッフ	1,100-
NIMS事務部門 事務業務員	1,150	セブンイレブン スタッフ	1,074-1,400

中核的事務業務遂行能力のある任期制職員は審査の上、無期雇用転換を進める

任期制職員俸給表の全面改定

- 給与ランクを等級号俸で統一
- かつ業務レベルの高い等級においては、専門性に応じ弾力的に処遇可能なように改定

2022 完全ペーパーレス宣言

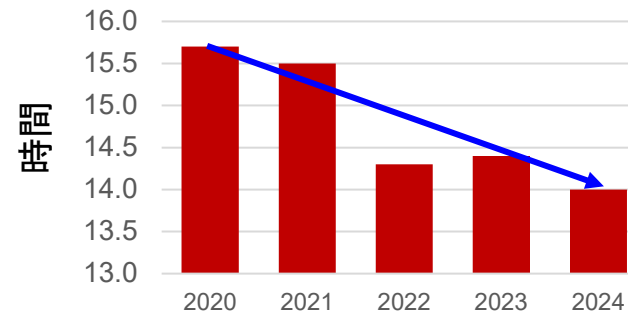
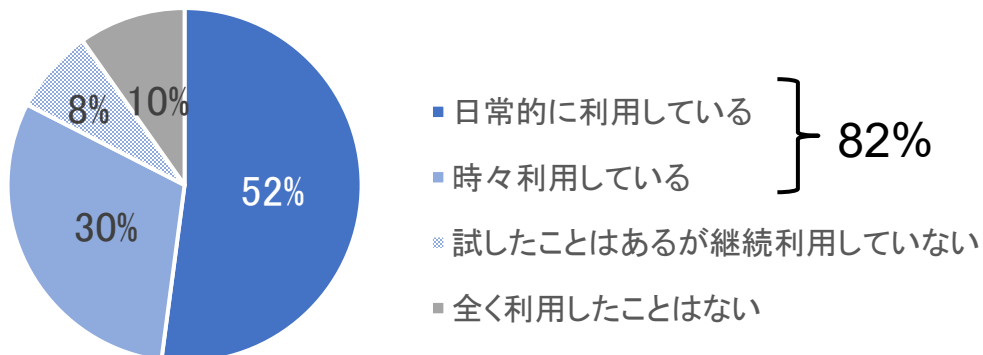
- 事務複合機の50%削減(強い反対があったが、業務になんの支障もなく推移。)

Office365によるグループワーク

- トップダウンでOutlookによる全職員のスケジュール管理を推進
- Desknet'sによる旧掲示板、文書管理もOffice365に移行

生成AIの導入

- ChatGPTを室・グループで約款契約(機密性なし)
- 機密性2を含む用途についてはGaixer (ISMAP認証)を導入・試行中
- 契約書についてはLEGALONを導入
- AI for Materialsでデータ駆動型研究、自動自律実験・産学連携マッチング、特許作成補助、業務効率改善に組織的に取り組む予定



- 長時間勤務が優秀さの指標でない意識の醸成
- 業務効率改善を評価に反映・理事長賞対象

まとめ

時代の変化にあわせて変化し続ける

世の中の動きをみて、民間企業をベンチマークとして変わって
いけなければ研究開発法人としてのミッションを果たせなくなる

戦略的マネジメント研修： 事務職、幹部職員の社会意識の向上